



# 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会

## 卒業生の集いを開催

### 短大・保専同窓会ホームページ開設

平成 24 年 3 月 5 日に「立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会ホームページ」を開設しました。アクセス方法は、図をご参照ください。

\*アクセス方法が変更になる場合がございます。変更となりましたら改めてご案内申し上げます。



立正大学ホームページ・トップページをスクロールして頂くとページ一番下に「立正大学校友会」のアイコンがあります。そちらをクリック



「立正大学校友会に関する情報は、校友会オリジナルサイトでもご紹介しています。」をクリック



「リンク」をクリック



「立正大学短期大学部保育専門学校同窓会」をクリック



立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会ホームページトップページ

立正大学は 2012 年、開校 140 周年を迎えました



立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会会長  
立正大学学園評議員 砂川米子

立正大学短期大学部・保育専門学校同窓生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび同窓会報「ひまわり」第二号を発行する運びとなりました。同窓会報「ひまわり」は年に一回発行を予定しております。次回の発行は一年後になるため、期間が随分と空いてしま

います。そのため、たくさん情報提供をしていきたいと考えております。また、立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会のホームページにおいてもご案内いたしておりますので、そちらも活用ください。

さて、平成 24 年 6 月 30 日（土）熊谷キャンパスにおいて、立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会定期総会を、立正大学校友会（校友の集い）と協働開催いたしました。定期総会・特別講演会・合同懇親会を行い、皆様のご協力により無事終了することができました。心より御礼申し上げます。

しかしながら、少々残念であったのは定期総会において参加者が少なかったことです。年々参加者が減ってきています。どうしたらもっと皆様に追加していただけるのか、大学に来ていただけるのか役員会において検討をしておりますが非常に難しい問題です。もし、皆様に良い提案・企画等ございましたら連絡いただきたく存じます。

同窓会は、卒業された OBOG の皆様で成り立っております。皆様の代表として、役員会では更なる発展を目指し進めておりますが、皆様の協力が不可欠です。皆様の積極的な参加とご支援ご協力をお願することといたします。

同窓会は、卒業された OBOG の皆様で成り立っております。皆様の代表として、役員会では更なる発展を目指し進めておりますが、皆様の協力が不可欠です。皆様の積極的な参加とご支援ご協力をお願することといたします。

同窓会は、卒業された OBOG の皆様で成り立っております。皆様の代表として、役員会では更なる発展を目指し進めておりますが、皆様の協力が不可欠です。皆様の積極的な参加とご支援ご協力をお願することといたします。

同窓会は、卒業された OBOG の皆様で成り立っております。皆様の代表として、役員会では更なる発展を目指し進めておりますが、皆様の協力が不可欠です。皆様の積極的な参加とご支援ご協力をお願することといたします。



保育専門学校開校式・入学式 昭和 44 年  
（一九八六）

ひまわり(立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会報) 第二号刊行にあたって



発行所 ●立正大学校友会  
発行人 ●山崎和海  
編集 ●立正大学学長室校友課  
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16  
☎ 03 (3493) 6673  
立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会  
会長 ●砂川米子  
会員数 ●12,500名  
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700  
立正大学熊谷キャンパス  
http://www.ris.ac.jp



### 短大・保専故事来歴 第二話

立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会監事 清水海隆  
昭和五十八（一九八三）年四月、新生・立正大学短期大学部が誕生しました。当初の入学定員は I 部社会福祉科・商経科・幼児教育科各百名、II 部社会福祉科・商経科・幼児教育科各五〇名、教員は学長の下に教授二十一名・助教授一〇名・講師十五名の四十七名という陣容でした。また、C 館（現 8 号館）が新たに作られ、使用に供せられています。

このようにスタートした新生短大ですが、すぐに十八歳人口の急増というわが国の高等教育の全体的状況の影響を受けています。昭和六十一（一九八六）年、保育専門学校開校式・入学式 昭和 44 年（一九八六）

年、I 部社会福祉科・商経科の入学定員を二百名へと倍増させました。（なお、II 部幼児教育科は昭和六十二年に募集停止しています。）これは期限付きの定員増認可可ですので、教員数は増員されませんでした。施設は順次に整備され、平成元（一九八九）年までに D 館（現 7 号館）・E 館（現 9 号館）の前身が改修され、F 館（現 6 号館）が新築されるなど、この時期に施設は大幅に更新されており、その後平成六（一九九四）年に新築された E 館を含め、現在まで熊谷キャンパスの学生教育に役立っています。

さて、十八歳人口の急増状態は、平成四（一九九二）年を境として急激な減少状態へと遷りました。このような状況は、四年制大学・短大を含めた立正大学全体での真剣な議論を呼び起し、学園・大学・短大の三者協議会が設置されました。ここでの議論は紆余曲折がありましたが、ついに短大側が提示した社会福祉学部構想（入学定員二百名。社会福祉学科二百名・教育福祉学科百名）が認められました。その後、教育福祉学科案は諸般の事情で人間福祉学科に変更を余儀なくされ、平成八（一九九六）年の立正大学社会福祉学部開設に至ったのです。同時にそれは短期大学の募集停止を意味し、ここに熊谷キャンパスにおける三十有余年の歴史の幕が下ろされることとなったのです。

(続)

# 短期大学部・保育専門学校同窓会 卒業生の集いを開催

## 第2部講演会、第3部懇親会は校友会と協働開催

6月30日(土)、初夏の日差しの中、熊谷キャンパスで再開第2回卒業生の集いが開催されました。6号館(古巣、旧短大・保専校舎)6101教室で定期総会が行われ、役員、23年度事業報告・決算、24年度事業計画・予算が承認されました。また、本同窓会の歴史の証人といえる卒業後40年以上卒業生の表彰がなされ、該当者の内、集いに参加された9名の方に砂川会長から賞状が感謝の言葉と共に贈られました。



### 定期総会 13:00~14:45 6号館 6101教室



- 役員承認
- 平成23年度事業報告・決算、平成24年度事業計画・予算承認
- 卒業後40年以上卒業生表彰
- 大学現状報告

第2部講演会「立正大学校友の集い2012 IN 熊谷」校友会プレゼンツ『エキスパートが語る2012』がアカデミックキューブA204教室で、第3部懇親会がステラで、校友会と協働開催で執り行われ、どちらも盛会の内、無事終了しました。



### 校友会プレゼンツ『エキスパートが語る2012』

15:00~16:30 アカデミックキューブA204

金子修介さんは、高橋美幸さん脚本映画「プライド(09年)」と「ばかもの(10年)」を監督しています。

- 金子修介(かねこ しゅうすけ)さん 映画監督 東京学芸大学卒業
- 高橋美幸(たかはし みゆき)さん 脚本家・小説家 立正大学文学部国文学科卒業
- MC 城向あかり(じょうこう あかり)さん フリーアナウンサー 日本女子大学卒業



### 合同懇親会 17:00~19:00 学生食堂 ステラ

- 来賓挨拶 ■立正大学吹奏楽部 プラスアンサンブルライブ ■校歌・学園歌斉唱



懇親会で挨拶をする砂川会長

吹奏楽部ライブ

吹奏楽部と記念撮影

会員懇談風景

エールを送る下垣キャリアサポートセンター長

事業	活動概要
同窓会運営	(1) 役員会 (2) 会計監査 (3) 会則の整備 (4) 同窓会の個人情報管理 (5) 会員(若い世代)に対する同窓会への参加推進 (6) 短大・保専に関する写真の収集・データ化、管理
卒業生の集い・定期総会	(1) 短大・保専同窓会再開総会実施 平成23年5月22日(日)熊谷キャンパス (2) 記念公演 (3) 懇親会
大学・学園への貢献	(1) 大学祭(星霜祭)への参加、協力、助成
校友会参加協力	(1) 全国総会への参加 (2) 役員会への参加
広報活動	(1) 校友会報に短大・保専同窓会について掲載 (2) 短大・保専同窓会のホームページ作成 (3) 短大・保専同窓会報「ひまわり」作成
校友会会員情報データと共同利用	(1) 短大・保専卒業生関係住所データ更新

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

事業	活動概要
同窓会運営	(1) 役員会 (2) 会計監査 (3) 細則の整備 (4) 同窓会個人情報管理 (5) 会員(若い世代)に対する同窓会への参加推進 (6) 短大・保専に関する写真の収集・データ化、管理 (7) 新役員選出
卒業生の集い・定期総会	(1) 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会卒業生の集い第2回定期総会 平成24年6月30日(土)熊谷キャンパス (2) 記念講演 (3) 合同懇親会
大学・学園への貢献	(1) 大学祭(星霜祭)への参加、協力、助成
学生助成	(1) 奨学金他
校友会参加協力	(1) 全国総会への参加 (2) 役員会への参加
広報活動	(1) 短大・保専同窓会のホームページ更新 (2) 短大・保専同窓会報「ひまわり」作成
校友会会員情報データと共同利用	(1) 短大・保専卒業生関係住所データ更新

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

### 平成23年度 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会収支決算

①収入の部			
科目	補正予算額	決算額	増減
校友会助成金	1,000,000	1,000,000	0
短大・保専同窓会引継ぎ金(繰越金)	3,682,065	3,682,065	0
定期総会(懇親会費)	72,000	72,000	0
表賀・御祝	40,000	40,000	0
雑収入(定期利息・普通預金利息)	1,649	1,649	0
役員送別会参加費	33,000	33,000	0
慰労会費	27,000	27,000	0
合計	4,855,714	4,855,714	0

②支出の部				
目的	科目	補正予算額	決算額	増減
事業費	定期総会	410,000	366,705	-43,295
	大学祭協力・助成	30,000	28,000	-2,000
事務運営費	研修会	200,000	0	-200,000
	学生助成	150,000	0	-150,000
	会議会合費	180,000	178,200	-1,800
	旅費交通費	300,000	189,980	-110,020
	通信運搬費	20,000	17,120	-2,880
	消耗品費	10,000	0	-10,000
	事務委託費	50,000	50,000	0
	雑費	45,000	41,408	-3,592
	支出合計	1,395,000	871,413	-523,587
	繰越金	3,460,714	3,984,301	523,587
総合計	4,855,714	4,855,714	0	

③繰越金内訳			
科目	平成23年3月31日残高	平成24年3月31日残高	
現金	152,073	352,660	
普通預金	353,561	453,685	
定期預金	3,176,431	3,177,956	
合計	3,682,065	3,984,301	

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

### 平成24年度 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会収支予算

①収入の部			
科目	前年度補正予算	当初予算	増減
校友会助成金	1,000,000	1,200,000	200,000
短大・保専同窓会引継ぎ金(繰越金)	3,682,065	3,984,301	302,236
定期総会(懇親会費)	72,000	0	-72,000
表賀・御祝	40,000	0	-40,000
雑収入(定期利息・普通預金利息)	1,649	0	-1,649
役員送別会参加費	33,000	0	-33,000
慰労会費	27,000	0	-27,000
合計	4,855,714	5,184,301	328,587

②支出の部				
目的	科目	前年度補正予算	当初予算	増減
事業費	定期総会	410,000	500,000	90,000
	大学祭協力・助成	30,000	100,000	70,000
事務運営費	研修会	200,000	250,000	50,000
	学生助成	150,000	100,000	-50,000
	会議会合費	180,000	250,000	70,000
	旅費交通費	300,000	250,000	-50,000
	雑給	0	100,000	100,000
	通信運搬費	20,000	1,000,000	980,000
	消耗品費	10,000	100,000	90,000
	印刷製本費	0	10,000	10,000
	手数料・報酬	0	10,000	10,000
	事務委託費	50,000	50,000	0
雑費	45,000	50,000	5,000	
予備費	0	500,000	500,000	
支出合計	1,395,000	3,270,000	1,875,000	
繰越金	3,460,714	1,914,301	-1,546,413	
総合計	4,855,714	5,184,301	328,587	

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

**四十年以上卒業生表彰を頂いて**

受賞者代表 作山 すみ子

昭和四十七年 保育専門学校卒業

校友会の皆様こんにちは！それぞれの立場でご活躍のこと存じます。

久しぶりに仲間と再会した瞬間から、思い出が走馬灯の如く脳裡を駆け巡り、懐かしさで一杯でした。

学び舎はリニューアルさ

驚くばかりの立派な学園となっており、キャンパスに踏み込んだ途端、身の引き締まる緊張を久しぶりに味わいました。

定期総会では、砂川米子会長より、卒業四十年に当たり賞状が授与され、あつという間の四十年を実感すると共に、自分を振り返るチャンスを得たような気が致しました。

懇親会では、教職員や卒業生と最高に楽しい時間を過ごすことができ、企画頂きました役員の皆様へ感謝申し上げます。

また、来年もお会いしましょう！

役員	
*会長	砂川米子(学園評議員)
監事	清水海隆(前副学長・社会福祉学部教授)
*総務委員長	浅見幹雄(熊谷キャンパス総務課長)
*総務副委員長	富田重直
*総務委員	服部敬子・小池博士
*広報委員長	瀧澤裕之(熊谷キャンパス法学部事務長)
*広報副委員長	武田佳典
*広報委員	深瀬かほる・小暮文彦
*財務委員長	水上 剛(熊谷キャンパス学事課長)
*財務副委員長	斉藤和好
*財務委員	菊地加津子

敬称略 \*印=短大・保専OB/OG